

2時間エスキス法【平成28年度の設計課題「子ども・子育て支援センター(保育所、児童館・子育て支援施設)」】

【2時間エスキス完了法について】

この2時間エスキスとは、試験開始後、課題読みから1/400エスキス完了までを2時間で終わることを指す。

製図試験は、6時間30分の中で**作図**と**記述**を終える時間勝負の試験である。理想形を追い求めず、多少減点のある図面であっても17:00まで完成させ、30分間を見直しをした人が合格できる試験でもあると言える(見直しに30分掛けないとミスは修正しきれない)。試験時間の理想的な配分は、①エスキス2時間、②記述1時間、③作図3時間、④見直し30分である。この中で最も重要なのは、①エスキス2時間である。エスキスが2時間で完了できれば、②記述1時間と③作図3時間は、それほど難しいことではない。従って、本解説では、「**予測課題3**」を参考にして、エスキスが2時間で完了する時間配分と、どこを合理化すれば2時間でエスキスが完了するか等について解説する。

【解説の構成】

研究会が推奨する2時間エスキスの構成と時間配分は下記の通りである。この順番に従って解説する(1/1000エスキスでは、如何に早く合理的に終了できるかの方法も解説)。

1. 課題読みと面積出し(試験時間11:00~11:30)

- (1) 課題読み15分(11:00~11:15)
- (2) 要求室の階振りと面積出し15分(11:15~11:30)

2. エスキス90分(試験時間11:30~13:00)

- (1) 機能図5分(11:30~11:35)
- (2) 1/1000エスキスプラン45分(11:35~12:20) ←重要
- (3) 1/400エスキスプラン40分(12:20~13:00)

1. 課題読みと面積出し30分(試験時間11:00~11:30)

・試験開始と同時に、15分で課題を読み、その後の15分で、課題の中の要求室一覧表を活用して面積出しを行う。

・面積出しは、階振りと要求室等の概算床面積を出すことである。この段階で各階の概算面積と、その合計が課題条件の「床面積の合計」の範囲内に納まるかのチェックができる。

(1) 課題読み15分(試験時間11:00~11:15)

・課題読み15分は、チェックポイントに**赤ボールペン**による**アンダーライン**と**重要部分の書き出し**をしながら、一通り15分で読み終えることである(課題文では**赤字**で表現)。

・予測課題のチェックポイントを下線と書き込み内容を赤字で示している。課題文でチェックすべきポイントは決まっているので、15分で課題読みを完了することはそれほど難しくない。

I. 設計課題

この課題は、ある地方都市の市街地に**保育所部門と児童館・子育て支援施設部門が一体**となった「子ども・子育て支援センター」を計画するものである。本施設は、地域の子どもの遊び場の提供と、子どもを持つ**親同士の交流の場**を提供するものである。建物の設計をするに当たっては、環境に配慮した**パッシブデザイン**を採用し、**高天井に対する落下防止**、地盤条件を考慮した**基礎方式**など安全性にも十分配慮して計画する。

1. 敷地及び周辺条件

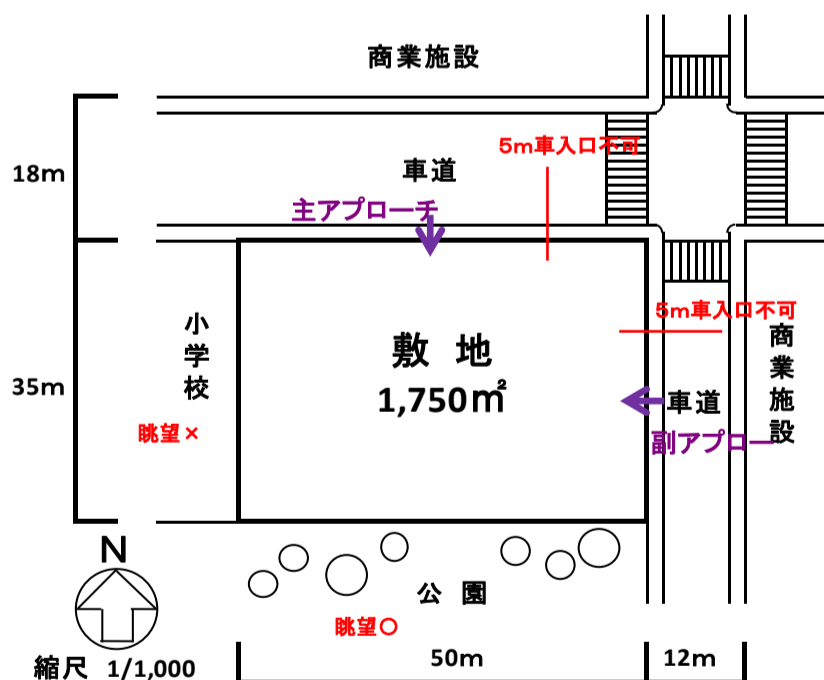
- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は、70%(特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の限度は300%である。
⇒**建ぺい率 $1750 \times 0.7 = 1225 \text{m}^2$ 以下**
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤の状況は、N値50以上となる**密実な砂礫層**が深さ**15m**以上に堆積しており、表土から深さ15mに至る中間層のN値が0~10であり液状化の恐れはない。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。

I. 設計課題の解説

この設計課題では、「**保育所部門と児童館・子育て支援施設部門が一体**」であること、「**親同士の交流の場**」であること、その他として「**パッシブデザイン**」、「**高天井に対する落下防止**」、「**基礎方式**」に配慮することが重要であると読み取る。

1. 敷地及び周辺条件の解説

敷地及び周辺条件では、「**建ぺい率が 1225m^2 以下**」であることと、地盤条件が「**密実な砂礫層が深さ15m以上に堆積している**」という点に留意する。**支持層が-15m**に深いため、**杭基礎**での計画となる。



敷地図の解説

敷地図では、基本条件となる敷地 1750m^2 、東西50m、南北35mを確認する。更に、道幅の大きい方を「**主アプローチ**」、小さい方を「**副アプローチ**」として、歩道から5m以内は車出入口の設置不可であることを書き込む。周囲環境は、南側が公園であり「眺望○」、西側が小学校で「眺望×」等をチェックする。

2. 建築物

- (1) 構造・階数等
構造種別は**自由**とし、**地上3階建て**の1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、 **$2,000 \text{m}^2$ 以上、 $2,400 \text{m}^2$ 以下**とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、搭屋、バルコニー、屋外階段等については床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

2. 建築物の解説

建築物では、構造種別が「**自由**」、階数が「**3階建て**」、床面積が「 **$2,000 \text{m}^2$ 以上、 $2,400 \text{m}^2$ 以下**」であることを確認する。

部門	室名	特記事項	床面積
保育所部門	遊戯室	・幼児向けの遊戯室とする。	約80㎡
	保育室	・2歳～5歳児用に各1室(約40㎡)を設ける。 ・食事は、レストランの厨房で調理する。 ・屋外遊技場との動線に配慮する。	計約160㎡
	乳児・ほふく室	・0歳児、1歳児を対象とし、調乳室、沐浴室を設ける。	適宜
	医務室		適宜
	幼児用便所	・男女兼用とする。	適宜
	保育所ロビー	・ベビーカー置場を設ける。	適宜
児童館・子育て支援施設部門	プレイルーム	・天井高は6m以上とする。 ・無柱空間とする。 ・屋外広場と一体的に利用できるようにする。	約150㎡
	子育てルーム	・交流スペース(約80㎡)を設ける。 ・ベビールーム、相談室を設ける。 ・談話兼情報コーナーを設ける。 ・下足箱、ベビーカー置場を設ける。	適宜
	子育て集会室	・子育て支援の会議等に利用する。	約80㎡
	図書室	・児童を対象とする。	約80㎡
	多目的室	・食事をする場合は、レストランの厨房で調理する。	適宜
	静養室	・プレイルームの設置階に計画する。	適宜
	事務室	・各階に計画し、受付カウンターを設ける。	適宜
	更衣控室	・職員用として男性用、女性用を各1室設ける。	適宜
	施設長室	・机、いす、ソファを設ける。	適宜
	職員休憩室	・保育所部門及びレストランの職員も利用する。 ・湯沸室を設ける。	適宜
	ロビー	・受付カウンターを設ける。	適宜
共用部門	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・1階から3階まで30㎡以上の吹抜けを設ける。 ・ベビーカー置場及び受付カウンターを設ける。	適宜
	レストラン	・40人程度が利用できるようにする。 ・テーブル、いす等を設ける。 ・厨房を設け、保育所部門と児童館・子育て支援施設部門への食事も供給する。 ・エントランスホールから利用できるようにする。 ・地域住民も外部から直接利用できるようにする。	適宜
	事務室兼保育士室	・6人分の事務スペース、受付カウンターを設ける。 ・保育所部門の保育士事務室も兼ねる。	適宜
	更衣室	・職員用として男性用、女性用を各1室設ける。	適宜
	防災備蓄倉庫	・内部及び外部からの利用に配慮する。	適宜

・便所及び倉庫については適切に計画する。
・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。
・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

要求室一覧表の解説

要求室では、床面積の指定のある室名に間違いを起こさないようチェックを入れる。「約」により床面積が指定された場合は、その指定面積の前後10%以内に納めるようにする。10%以下は減点対象、10%以上は「過去の標準解答例(いくつかは+10%を超えている)」から判断すると、減点されるかは微妙である(減点されても小さな減点)。

それ以外には、厨房、屋外遊技場や屋上広場などの動線関係、各要求室の特記事項内に更に要求室がある場合、及びそれ以外の例えば吹抜けや下足箱などプラン検討に影響のある諸条件である。

3. その他の施設等

- 地上に保育所部門の幼児の遊び場として屋外遊技場250㎡以上(上部に屋根、ひさし等がある部分は算入しない。)を設ける。屋外遊技場は、保育室と一体で利用できるようにし、砂場、ぶらんこ、鉄棒、すべり台、足洗い場等を設置する。
- 1階又は2階の屋上に児童が利用する屋外広場80㎡以上(上部に屋根、ひさし等がある部分は算入しない。)を設ける。
- 駐車場は、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。なお、施設利用者用、職員用の駐車場は、公園駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- 自転車置場は、施設利用者用として30台分を設ける。
- (1)～(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - 保育所部門、児童館・子育て支援施設部門とを適切にゾーニングし、明快な動線計画、避難等に配慮する。
 - 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とし、日射の遮蔽に配慮する。
 - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 地盤状況に配慮し、基礎方式を適切に計画する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。空調方式は、プレイルームの空調を単一ダクト方式とし、その他の室は空冷ヒートポンプパッケージ方式とする。給水設備は、受水槽方式とする。

3. その他の施設等

その他の施設等としては、屋外遊技場と屋外広場である。それぞれ指定面積も確認する。「以上」の場合は、必ずその指定面積以上としないと減点となる。更に、車いす駐車場、サービス駐車場、駐輪場については、その台数をチェックする。

4. 計画に当たっての留意事項

計画に当たっての留意事項は、ほぼ定型文であるが、過去に「(3)設備計画」については、何度か指定されていることから、この点を確認する。予測課題3では、空調方式で単一ダクト方式と空冷ヒートポンプ方式、給水設備で受水槽方式が指定となっている。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して説明しても良い。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図 兼配置図 1/200	① 各階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト【(パイプ)シャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)】の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース
(2)2階平面図 1/200	ヘ. 断面図の切断位置
(3)3階平面図 1/200	ト. 要求室の特記事項に記載されている什器等 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 敷地内の駐車場、駐輪場 ハ. 屋外遊技場 ニ. 通路、植栽等 ③ 2階平面図又は3階平面図には次のものを図示又は記入する。 イ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 屋外広場 ハ. 2階居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ニ. 3階居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路
(4)断面図 1/200	① 断面位置は、プレイルームを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。 なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 搭屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 基礎(一部省略してもよい)、梁及びスラブの断面を図示する。 ④ 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。

II. 要求図書

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

ここは、毎年ほぼ定型文である。

要求図書の一覧表

要求図書の一覧表では、ほぼ定型文であるが、留意すべき点は歩行距離及び経路が2階と3階の両方で書く必要があること、断面位置の指定でプレイルームがあること、基礎は断面に図示して一部省略してよいことである。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1～3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
- ① 建物のアプローチ及び動線について考慮したこと
 - ② パッシブデザインの観点から工夫したこと
 - ③ 高天井であるプレイルームの天井等落下防止対策として工夫したこと
 - ④ 保育所部門の防犯と安全性について考慮したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
- ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - ② 地盤条件を考慮して採用した基礎方式と採用した理由
 - ③ 耐震計画について配慮したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
- ① EPS及びPS(排水)の配置計画について考慮したこと
 - ② 地震等の災害において設備機器の損傷防止及び3日間程度の断水、停電への対応策を記述すること
 - ③ 空調設備、給湯設備及び電気設備の機器選定において環境負荷低減(省エネルギー等)に関して考慮したこと



2. 面積表

面積表は、左記のような定型文である。

3. 計画の要点

課題読みでの計画の要点(記述問題)のチェック方法は、何が出題されたかを確認する。本記述問題は、会員講座8章「記述解答例」で予測できる問題について詳細解説をしているので、そちらを参照して頂きたい。

その予測問題と同じであるか、または多少の応用で容易に解答できるか、または全く異なる出題であるかについてチェックする。異なる問題以外であれば、エスキス無しで直ぐに記述解答できる。

(2) 要求室の階振りと面積出し15分(試験時間11:15～11:30)

「課題読み」が終了後、課題文の要求室の一覧表を使って各室の床面積求め、階想定と合計床面積を計算する(2,000㎡以上、2,400㎡以下納まるかもチェック)。階想定は、左の空欄を利用して、1階、2階、3階で振り分ける(第1候補○、第2候補△)。㎡数指定のある要求室は、「約」であるならば、その指定数値の上下10%以内に納める。「適宜」の㎡数は、一般に、その要求室に関する算定係数を乗じて求める。ただし、医務室、相談室、保育室、事務室等は、この段階で20㎡程度と想定して記載すると良い。この合計床面積の算出は、床面積(ここでは2,000㎡以上、2,400㎡以下)に対して、廊下等を加味した1.3倍の合計床面積に納まっているかを確認する。この段階では、各室の床面積を詳細に求めるよりもスピードを重視すると割り切って概算値により求めた方がよい。更に、ここでは、階床面積に対して1.3倍(廊下等分)を乗じた参考最小値を求め、7×7=49㎡、7×6=42㎡で除して「最少コマ数」を出しておく。この最小コマ数は、次のエスキスでグリッドを7×7、7×6のどちらとするかの決定要因となる。

階想定			部門	室名	特記事項	床面積	階㎡数		
1階	2階	3階					1階	2階	3階
○			保育所部門	遊戯室	・幼児向けの遊戯室とする。	約80㎡	80		
○				保育室	・2歳～5歳児用に各1室(約40㎡)を設ける。 ・食事は、レストランの厨房で調理する。 ・屋外遊技場との動線に配慮する。	計約160㎡	160		
○				乳児・ほふく室	・0歳児、1歳児を対象とし、調乳室、沐浴室を設ける。	適宜	40		
○				医務室		適宜	20		
○				幼児用便所	・男女兼用とする。	適宜	30		
○				保育所ロビー	・ベビーカー置場を設ける。	適宜	80		
	○			児童館・子育て支援施設部門	プレイルーム	・天井高は6m以上とする。 ・無柱空間とする。 ・屋外広場と一体的に利用できるようにする。	約150㎡		150 外80
	△	○	子育てルーム		・交流スペース(約80㎡)を設ける。 ・ベビールーム、相談室を設ける。 ・談話兼情報コーナーを設ける。 ・下足箱、ベビーカー置場を設ける。	適宜			160
	△	○	子育て集会室		・子育て支援の会議等に利用する。	約80㎡			80
	○	△	図書室		・児童を対象とする。	約80㎡		80	
	○	△	多目的室		・食事をする場合、レストランの厨房で調理する。	適宜		80	
	△	○	静養室		・プレイルームの設置階に計画する。	適宜			20
	○	○	事務室		・各階に計画し、受付カウンターを設ける。	適宜		20	20
	○	△	更衣控室		・職員用として男性用、女性用を各1室設ける。	適宜		20	
	○	△	施設長室		・机、いす、ソファを設ける。	適宜		20	
	△	○	職員休憩室		・保育所部門及びレストランの職員も利用する。 ・湯沸室を設ける。	適宜			20
	○	○	ロビー	・受付カウンターを設ける。	適宜		100	100	
○			共用部門	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・1階から3階まで30㎡以上の吹抜けを設ける。 ・ベビーカー置場及び受付カウンターを設ける。	適宜	80	吹30	吹30
○				レストラン	・40人程度が利用できるようにする。 ・テーブル、いす等を設ける。 ・厨房を設け、保育所部門と児童館・子育て支援施設部門への食事も供給する。 ・エントランスホールから利用できるようにする。 ・地域住民も外部から直接利用できるようにする。	適宜	120		
○				事務室兼保育士室	・6人分の事務スペース、受付カウンターを設ける。 ・保育所部門の保育士事務室も兼ねる。	適宜	20		
○				更衣室	・職員用として男性用、女性用を各1室設ける。	適宜	20		
○				防災備蓄倉庫	・内部及び外部からの利用に配慮する。	適宜	20		
				・便所及び倉庫については適切に計画する。 ・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。					

①小計	670	580	580
①小計×1.3(廊下等)	871	754	754
合計	2,379(目安)		
「①小計×1.3(廊下等)」によるコマ数検討			
7×7コマ数(*49)	18コマ	16コマ	16コマ
7×6コマ数(*42)	21コマ	18コマ	18コマ

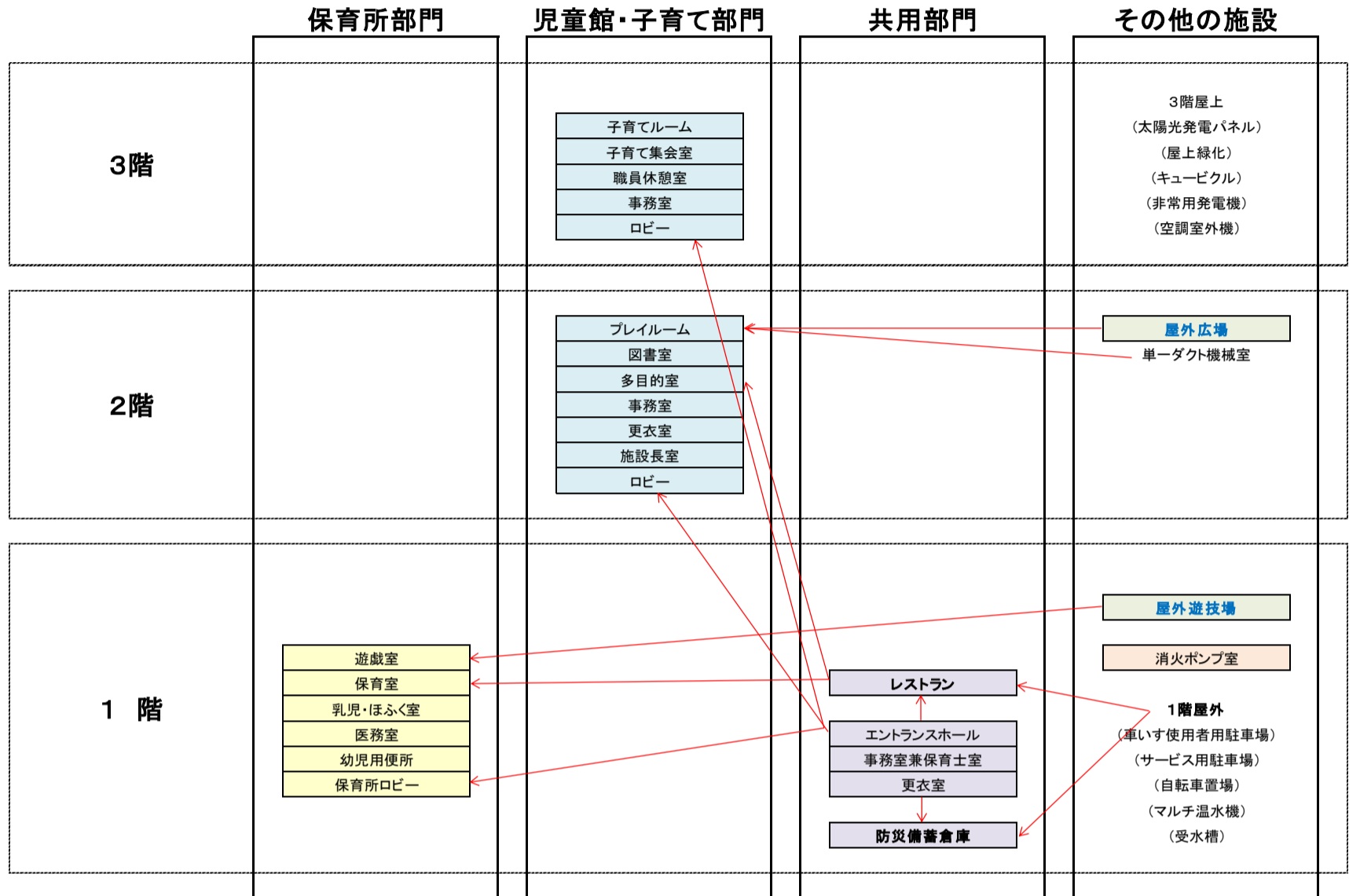
ここまでを30分で完了
(試験時間11:00～11:30)

2. エスキス90分(試験時間11:30~13:00)

- ・エスキス90分で検討することは、(1)機能図5分、(2)1/1000エスキスプラン45分、(3)1/400エスキスプラン40分である。
- ・ここで重要なのは、1/1000エスキスである。1/400エスキスは1/1000エスキスを拡大して作図するための最終エスキス図を完成させることであり、エスキスそのものは1/1000で終了している。
⇒従って、この1/1000を素早く正確に合理的にエスキスできることが重要であり、そのポイントを解説する。

(1)機能図5分(試験時間11:30~11:35)

機能図は、部門(その他の施設含む)と階数と要求室の関係が一目で分かるようにする。矢印は、動線の繋がりを示す。
下図のように、横軸を階数(1階、2階、3階)とし、縦軸に部門(保育所部門、児童館・子育て施設部門、共用部門、その他の施設)を書いて、そこに該当する室を書き込み、関連するものを矢印で引くと容易にまとめることができる。この機能図は、5分を使っても書いた方が良く、エスキス中にうっかり忘れた等の手戻りを防止することができる。

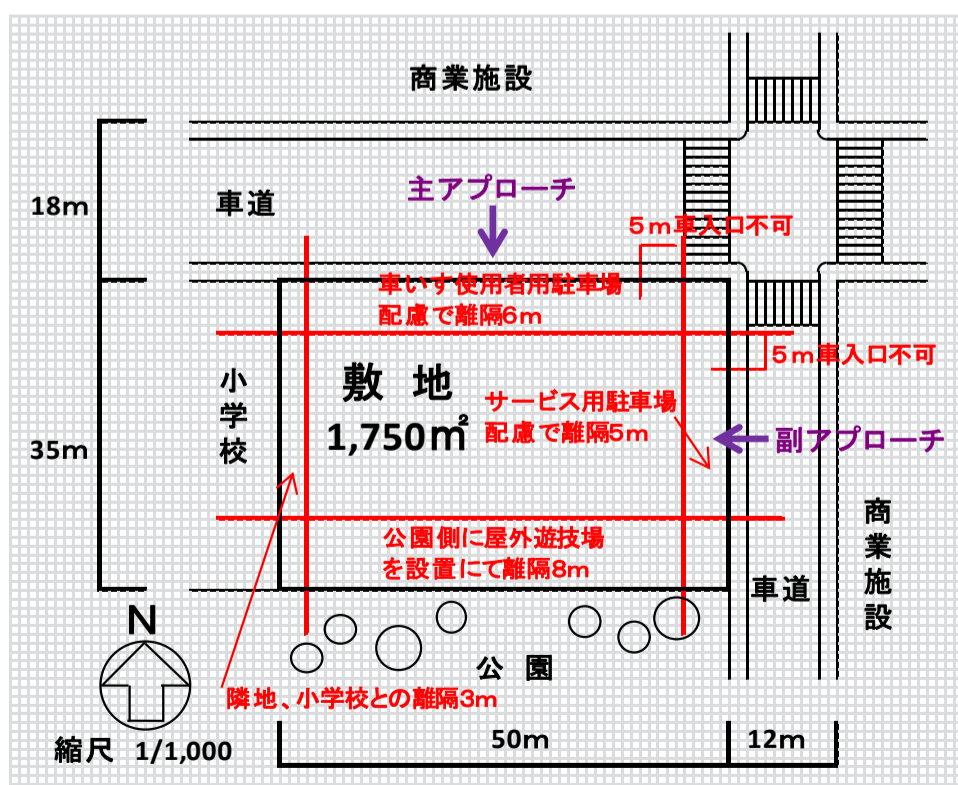


(2)1/1000エスキスプラン45分(試験時間11:35~12:20)

- ・1/1000エスキスプランは、①建築可能範囲3分、②グリッドスパン確定7分、③要求室の1/1000グリッド割付35分の合計45分で検討する。

1)建築可能範囲の検討(3分)

- ・ここでは、敷地内の東西南北の離隔距離を想定して、建築可能範囲を確認する。



建築可能範囲は、課題の配置図に東西南北の最低離隔を書いて検討する。
西側の最低離隔は2mであるが、ここでは安全を見て3mとしている。
東側は、副アプローチとなるので、サービス用駐車場を念頭に5mとした。
北側は、車いす使用者用駐車場のために6mを確保している。
南側は、公園であることから屋外遊技場を想定して8mの離隔としている。

ここは、敷地50m×35m(直近過去4年間の出題で3回がこの敷地距離)であることから、概ねH28もこの敷地に近いものと推定する。従って、その場合、次項で解説するが、建築部分は42m×21mとなるので、それを念頭に離隔距離も上記のように抑えると簡単にまとめることができる。

2) グリッドスパンの確定(7分)

・ここでは、グリッドスパンを7×7mグリッドするか、7×6mグリッドとするかを決定する(下図参照)。
 ⇒研究会としては、計画が可能なら階段等でX軸Y軸のどちらにも計画できる7×7mグリッドスパンを推奨する(計画し易い)。
 ・7×7mグリッド(南面6スパン):6×3コマ=18コマ(42m×21m=882㎡)
 ・7×6mグリッド(南面7スパン):7×3コマ=21コマ(42m×21m=882㎡)
 一般的には、指定㎡数が50㎡が多い場合、7×7mグリッドとなり、40㎡なら7×6mグリッドとなる。しかし、純ラーメン構造であるならば、壁は自由に設定できるので、40㎡指定が多くても7×7mグリッドでプランニングすることは可能である。

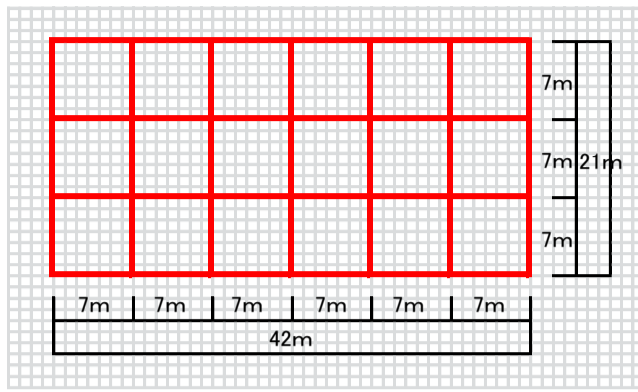


図1 7×7mグリッドスパン

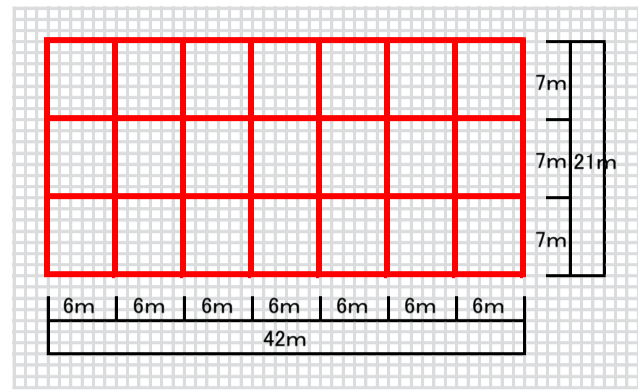


図2 7×6mグリッドスパン

3) 要求室の1/1000グリッド割(35分)

- ・要求室のグリッド割は、1/1000での要求室をグリッド単位で割付けることである。
 ・この1/1000のプランでは本計画が確定するので、エスキスは、ここが重要であると言える。1/400プランは、この1/1000プランに基づき、スケールを再確認して行く作業である。
 ⇒この1/1000プランは、要領を得ると簡単に素早く合理的にプランニングできるようになるので、下記コメントを参考にして頂きたい。
- ① 道路幅が広い方が利用者入口、狭い方が通用口となり、レストラン等あれば、その動線も計画する。
 - ② 屋外遊技場との関係から1階は保育所部門となり、その結果、児童館・子育て支援施設部門は2階、3階になると推定できる。
 - ③ 1階は、利用者入口から入り、その直ぐ隣に2階、3階への縦動線(EVと階段のコア)を決めると、2階、3階への移動がし易く良いプランとなる。
 - ④ その反対側で、かつ管理ゾーンに管理用縦動線(EVと階段のコア)を決めると良い(この管理用EVには併せてEPSと空調用PSを組込むと計画が簡素化できる)。
 - ⑤ ③と④のコアは、1コマと決めて、更にその詳細プランも決定しておく(図2及び図4参照)、何も考えずに、EV、階段のエスキスが終了していることとなる(1コマのコアで終了)。

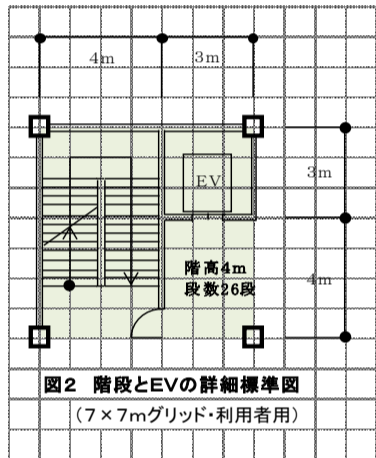


図2 階段とEVの詳細標準図
(7×7mグリッド・利用者用)

縦動線となるEVと階段は、図2のようにセットで1コマの中に計画しておく。図2は、7×7mグリッドの場合であるが、同様に7×6mグリッドも決定しておく。

更に、管理用EVと階段(図4参照)も決定しておく、このコア部分はエスキスが不要となる(1コマの位置だけで終了である)。更に、このコアは、2階、3階も同じ位置となるので、この位置が決まると、かなり早くエスキスできるようになる。

なお、管理用EV、階段は、スペースがあまるので、その部分をEPS、屋上への空調用PSとすると、エスキスが更に早く決定できるようになる(メンテ上も有利)。

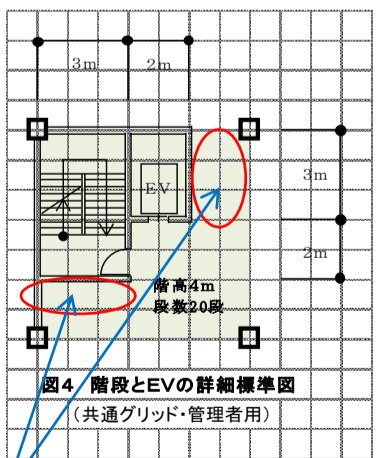


図4 階段とEVの詳細標準図
(共通グリッド・管理者用)

どちらかがEPS、PS設置の狙い場所

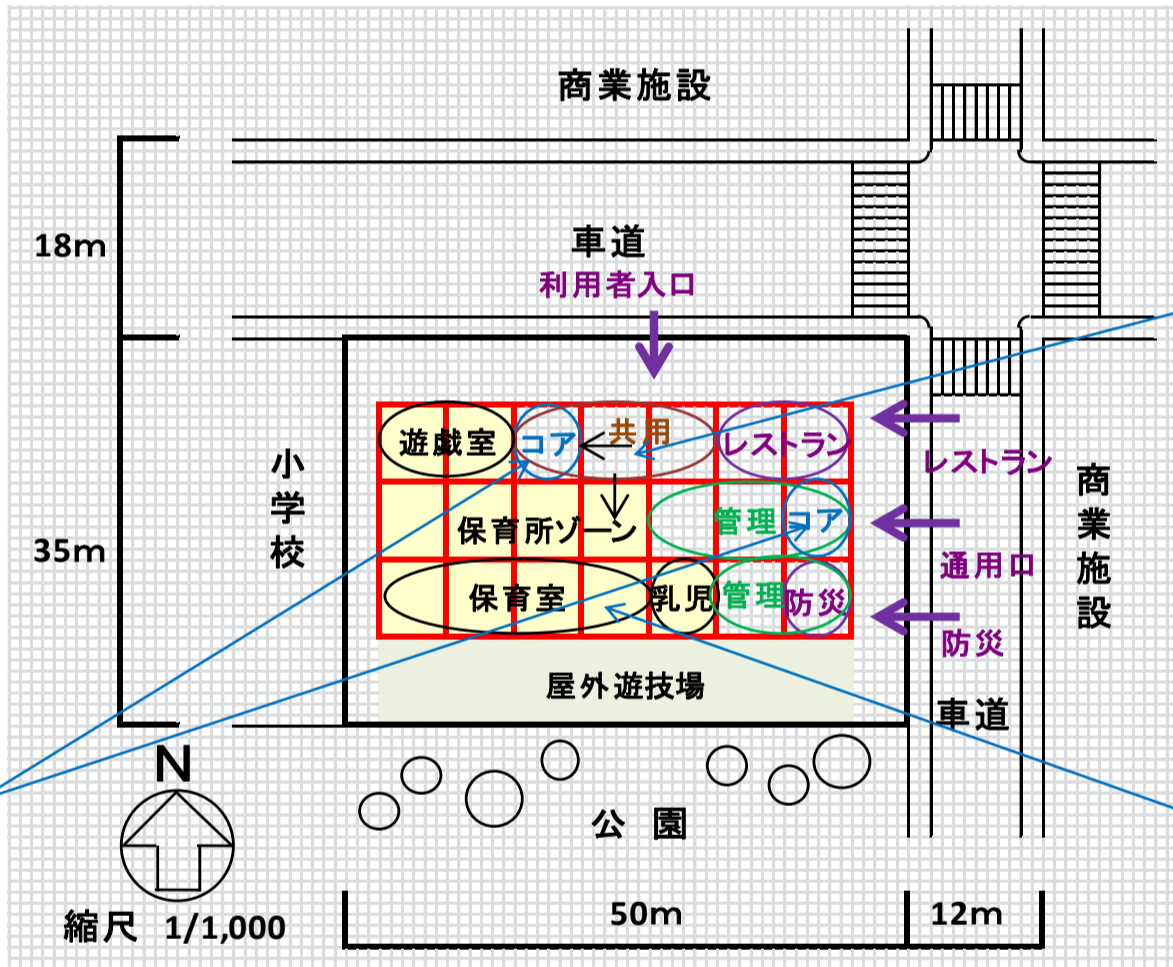


図3-1 1/1000のイメージゾーニング(1階)

利用者は、一度共用部(入口)へ入り、そこから2階、3階へのEVへ向かうか、保育所部門へ向かうかの計画とする。保育所部門は、セキュリティの関係から児童館・子育て支援施設部門と扉で区切る必要がある。

更に、この計画のようにレストランがある場合、レストランへは共用部門から入る動線とする。

吹抜け指定がある場合、共用部の入口部分に1コマを吹抜けとすると、上階でも他の要求室にそれほど負担無く計画することができる。ただし、風除室の上部は吹抜け面積とならないので、その点は注意を要する。

保育室は、日射、通風などの環境と屋外遊技場との関連から、ほぼこの1階南面に面して計画することとなる。

保育室の出退室数(4室なのか2室なのか)によるが、この南面を保育室4室となると、遊戯室は北面になる可能性が高い。いずれにしても、保育所ゾーンのエントランスホールから各室へ入室する動線で計画することとなる。

児童館・子育て支援施設部門のプレイルームは、かなりの確率で高天井室となると推定できる。その場合、3階に計画して、その室だけを高い階高としても良いが、構造的な負担から考慮すると、2階に計画し、3階も吹抜けとした方が良く、更に経済的にも有利になる。その場合、屋外広場との連携を指定される可能性も高く、いずれにしても管理側と反対の角位置にすると計画し易くなる。つまり、2階と3階の1/3は既にエスキスが終了していることとなる。

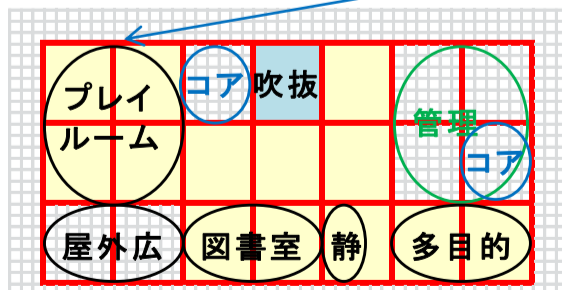


図3-2 1/1000のイメージゾーニング(2階)

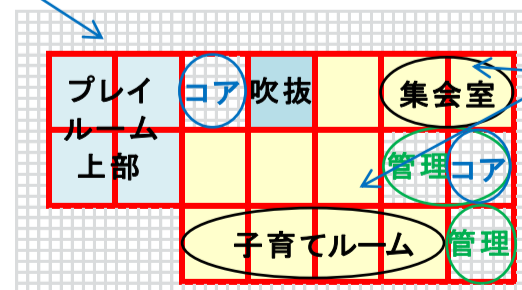


図3-3 1/1000のイメージゾーニング(3階)

2階がプレイルームとなると、それに関連して児童館施設が2階に多く計画することとなる。

その結果、3階は、子育て支援施設となる可能性が高く、子育てルームは、南面での計画が望ましい。その指定面積にもよるが、場合によっては左図のように子育て打合せ等の集会室は、北側で計画することも考慮しておいた方が良い(南面に計画可能ならその方がベスト)。

いずれにしても管理ゾーンは、管理用EV、階段のある西側にまとまることとなる。もし、狭い道路が西側にある課題であれば、左記計画を180°入れ替えると解答となる。

(3) 1/400エスキスプラン40分(試験時間12:20~13:00)

・1/400エスキスプランは、1/1000エスキスプランに基づき、作図するために寸法的間違いがないかを1/400で確認するための作業である(図面は予測課題3の解答図参照)。

※上記解説は、2時間でエスキスを終了させるため、かなり決めつけている点が多い。皆様も自分の決めつけ案を決定し試験に臨み、出題課題と違う部分を変更した方がエスキスは早く終了する。